第9回総務・企画・議会小委員会（議事概要）

日 時 平成14年11月27日（水）PM1:30~PM2:50

場 所 峰山町役場

出席者数 12人（欠席2人）

傍聴者数 3人

主な議題

- （1）協議第1号 17 町、字の区域及び名称の取扱いに関する事
- （2）新市建設計画の具体化等について
- （3）次回の議題について
- （4）次回の小委員会の日程

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

- （1）協議第1号 17 町、字の区域及び名称の取扱いに関する事・・・**継続協議**

主な意見

委 員 これは、土地台帳法や戸籍住基法など行政との関連、また区長会との関係はどうなるのか。

部会長 区長との関係は、字名、また字の中での行政区についてそのまま残すということでは変わりないと思う。戸籍や登記の関係は、今法務局は電算化されようとしていて、町名、字名については行政で決められたものに対応していただける。

委 員 離村して誰もいない地域があり、住民には馴染み深いかもしれないが、この際整理できないか。

委 員 町によって「字」のあるところとないところがあるが、市に移行した時に全部付けるなど統一したらどうか。

部会長 地域の方々の合意があれば考えられるが、人が住んでいなくても字名は存在し本籍に出てくるので、行政側から字名を抹消するのは無理と考える。しかし、「字」を付けるか付けないかは協議会での議論である。

委 員 現在の町名を残すということになると、例えば峰山市峰山町ということも考えられる。町名を残さなければ具合が悪いのか。新市の名称が付けにくい。

部会長 先進事例では、例えば3町が合併して市となり、内1つの町だけが地域要望で町名を残したというところもあると聞いている。新市の名称が決まってから考えていただいてもよい。

委 員 そのことを早く決めてしまわないと名称が選べないのではないかと。私は町名はあまり残さない方がよいと考える。また、弥栄町には外村（とのむら）という区が

- あり区長もいる。しかし字名でいくと溝谷となるが、こういったところはどのようにしていくのか。
- 部会長 他町でもそういう例はある。ここでは、あくまで住民登録、登記で使われている字名をどうするかということで、そのまま移行することになれば変わらないと考える。今回の字名には、通称は入っていない。
- 委員 地元の意見も十分に聞いてほしい。
- 委員 行政上、町名を残した方がよいという理由はあるのか。先進地で話を聞いたら、旧町単位で選択すると聞いた。町名を残すことで旧村意識が続き、いつまでたっても一体感が生まれてこないという意見もあるがどうか。
- 部会 6町の中で同じ字名があるところは、町名を取ると例えば 市大宮谷内とか 市丹後谷内ということにしないとまぎらわしい。住民感情は町名に対する愛着もあろうかと考え、残さないと理解が得られないのではないかと。また、町名を残さなくても行政的には問題はない。
- 委員 今でも住所表記が非常に長い。伝統はあるだろうが、思い切ってははずしたらよい。
- 委員 旧町名には愛着はあるが、6町が一つになり新しいものを作っていくという意味でははずしたらよい。文化的には、字名で残っているものが多いと考えるので、何らかの形で引き継がれると考える。
- 委員 政令都市では 区 町となっていると思う。町名には愛着があり、地域外の人にも馴染みがあり、混乱を避ける意味でも残した方がよい。同じ字名は、町名ではっきりわかるようにするのがよい。
- 委員 6つの町名には、味があり意味があると思う。合併すれば京都市に次ぐ広い面積となるので、町名を取るとわかりにくい。
- 委員 丹後は一つという考えで、町名はとったらよい。同名のところは、片方から「字」をとれば混乱はないと考える。
- 委員 地域で連合区制をとっているところについての検討はどうか。
- 部会長 区の組織名称と字名は別のものと考えていただきたい。
- 委員 そういった同じ字名の中に存在する地域について、地元の総意を聞いたらどうか。
- 部会長 字名を設けるということは字界を設けることになり、地域の100%の同意と、隣接の同意、地権者全ての同意が必要となり実務的には非常に難しいと考える。
- 委員 この委員会の判断では難しいので、区長会など地元意見を聴取する方法はないか。
- 委員 ここに出ているのは昔から伝わる大字名であり、人の住む住まないに関係ないものなので、実際に人の住んでいる小字名の話を入れると混同すると考えるが。
- 部会長 小字が一般的な通称であり、区になっているところもあるだろう。今回は、町名を残すのか字という文字をどうするのかという議論であり、新しい字名を付けるというのは別の協議になると考える
- 委員 今後のスケジュールと、町名を残すのか残さないのか、各町での対応が違っててもよいのか決めておかないと調整できないのではないかと。
- 委員 これは継続協議とし、住民の意向を汲むということで持ち帰り各層に聞いてみたいと考える。支所や小中学校の名称にも関係してくるので残してほしい。
- 委員 新市の名称が関係してくるので、継続協議にしてほしい。

- 委員 町名は合併を機に取ったらよいと考えるが、町名は各機関の名称にも関係してくるし、残すなら全ての町で残してほしい。
- 委員 町名を残して支所名などに付けると、何のための合併かと言われぬか。また、合併してもいつまでも地域意識の問題が出てくるのではないか。
- 委員 地域のバリアフリーは大事だが、旧村単位で行われる運動会など、地域の小さなコミュニティーを大事にしていきたい。
- 委員 町名は取ってもよいと思うが、色々な団体などどこかで旧町名が使われても支障がないと考える。ただ、役場の方で住民の意向を吸いあげるということは無理だろうか。ただ単なる継続協議では解決策は生まれてこない気がする。
- 部会長 本日の意見を参考に、色々なパターンを示し方向付けしていただくのも一つと考えるが、新市の名称が決まった後に協議する方が、考え方も変わってくるかもしれない。

(2) 新市建設計画の具体化等について

- 委員 情報化の目玉と言われるケーブルテレビ、光ファイバーについて、平成 15 年度に話が出ている地域イントラとは関係があるか。
- 事務局 総事業費については近く検討されるが、本庁と支所が分散するので、少なくともその間は結んでいかなければならない。地域イントラはどれくらいの細かさで広げて行くか、また C A T V については、共同受信地域の多いところでどう取り込むかなど併せて考え、新市建設計画に盛り込めないか協議している。
- 委員 大宮町では保育所統合が計画されているが、6 町の小学校についてはそういった計画など話が進められているか。
- 事務局 住民・福祉・教育小委員会の方で、通学区域については現行どおりということで確認されている。新市建設計画策定小委員会において、今後、財政合理化を議論すべきとの意見が出ていた。
- 委員 「現行のまま新市に引き継ぐ」といっても合併後すぐに一つにされるのではといった不安がある。ある程度の姿を見せる中で、方向付けなどを合併の議論の場に出せないか。
- 事務局 各町長に伝える。

(3) 次回の議題について

協定項目の協議について

(4) 次回の小委員会の日程

第 10 回総務・企画・議会小委員会

日程 平成 14 年 12 月 4 日(水) 午前 9 時 30 分

場所 丹後町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)